

令和6年 戸田市議会年間活動成果

| 区分 | 委員会名 | 年間活動テーマ | 年間活動成果 |
|-----------|------------|--------------------------------------|---|
| 政策立案・政策提言 | 総務常任委員会 | 能登半島地震を受けての避難所運営の在り方について | 提言書を執行部へ提出 |
| | 文教・建設常任委員会 | 特色ある学校づくりについて | 調査報告書を執行部へ提出 |
| | 健康福祉常任委員会 | 障害福祉を施策展開するために～差別解消、合理的配慮、就労強化を目指して～ | 提言書を執行部へ提出 |
| | 市民生活常任委員会 | 文化・スポーツ施策について | 提言書を執行部へ提出 |
| 議会改革 | 議会改革特別委員会 | 議会におけるデータ活用について | データ活用の意義や手法などについて調査研究を行い、議会全体での研修会を実施 |
| | | 議員報酬等の見直しについて | 議員報酬について、市長に対して特別職報酬等審議会の開催を要望することについて及び特別職報酬等審議会の答申等を踏まえ、適正な議員定数について協議 |
| | | 政務活動費の見直しについて | 政務活動費における宿泊料について、特別な事情があり、議長が特に認めた場合に限り上限額を超えて充てることができる例外規定を設けた |
| | | グループウェアの導入について | 災害時における効率的な情報共有及び平時における連絡調整等で活用できるツールとして、LINE WORKSを導入 |

成果の詳細はこちら



各委員会では、年間活動テーマや検討事項を定め、行政に対する政策提言・政策立案や議会改革を積極的に行っています。

ここでは、今年度の各委員会の活動成果の概要をお伝えします。

健康福祉常任委員会

障害福祉の施策を展開し、全ての人が共に生きる社会へ

令和6年4月の「戸田市障がいを理由とする差別のない共生社会づくり条例」の施行を受け、主に差別解消・合理的配慮・就労強化の観点から、実効的な施策を展開していただけるよう、提言書を提出しました。提言項目は、①障害理解の促進の場づくりやその検証、②合理的配慮の推進を助ける制度の整備、③市における障害者雇用の更なる拡充、④就労推進部会の活性化、⑤福祉と産・官・学の連携の5点です。



電子機器の基盤解体を行う就労継続支援事業所を視察

総務常任委員会

安心して過ごすことができる避難所運営に向けて

能登半島地震における避難所運営の状況を調査するとともに、過去に当委員会で提言してきた避難所運営に関する提言内容への対応状況の検証などを行い、「避難所運営の在り方等に関する提言書」を提出しました。提言書では、避難者からのニーズに対応できる仕組みを構築することや、指定避難所以外の避難者の状況把握及び支援ができる体制を構築することなどを提言しています。



本庁舎1階の防災備蓄倉庫を視察

市民生活常任委員会

スポーツ機能の充実をはじめ誰もが利用できる複合施設に

戸田市スポーツセンターの再整備に当たって、スポーツ機能の充実をはじめ、スポーツをする人もしない人も気軽に利用できて、健康増進、文化活動の推進、防災機能の強化、にぎわい創出などにつながる持続可能な複合施設となるよう提言書を提出しました。市民の希望が反映される仕組みづくりや進捗状況の公開により、みんながワクワクしながら新しい施設の誕生を期待できる再整備事業となることを期待しています。



何度も活発に議論しました

文教・建設常任委員会

子供たちが自分の居場所を実感できる学校環境の整備を

昨今、子供たちを巡る環境は一層深刻さを増しており、全国の小中学校で不登校となっている児童生徒は11年連続で増加しています。本市も例外ではないことから、子供たちが主体的・本質的に学べる学校環境の整備に力を入れている事例を調査し、報告書として提出しました。特に注目すべきは、児童一人ひとりが自分の居場所を実感できる環境を整え、不登校ゼロを達成している学校が存在していたことです。



校内にある、赤じゅうたんの際立つ「議会」で自分たちのことを決めます

まちづくり・交通対策特別委員会

まちなかウォークブル推進事業に関する要望書を提出

まちづくり・交通対策特別委員会では、令和5年度より調査事項に加えた、まちなかウォークブル推進事業に関し、要望書を提出しました。滞留性を高め、歩きやすく居心地のよい空間を創出することや、社会実験を実施した北戸田駅・笹目川周辺にとどまらず事業範囲を拡げ、回遊性を生み出せる整備を推進し施策を実施すること等を要望しました。



シェアオフィス・シェア店舗の並ぶ鉄道高架下を歩きました